

令地	和域	6医	年療	度構	誼想	訪調	医整	療会	圏議	資料
										1
書 面 開 催										

地域医療構想の推進について

今後の進め方について

議論の進め方

- 医療機関間の更なる役割分担と連携を進めるため、医療提供体制の「グランドデザイン」を念頭に置き、圏域における議論を実施。
- 地域の医療関係者が医療の取り巻く現状を適切に把握し、議論の活性化がなされるよう、県よりデータ分析結果を提示。
 - ☞ 県、委託事業者(株式会社日本経営)、産業医科大学の三者によるデータ分析体制を新たに構築。
 - ☞ レセプトデータ等を活用し、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析(=地区診断)を実施。
 - ☞ 12月以降を目途に分析結果を各圏域に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。
- 圏域における議論を踏まえ、必要に応じ、策定した各医療機関の対応方針の見直しを行うとともに、圏域内で共有。 ※令和6年7月に、昨年度策定いただいた対応方針の更新方法について依頼。
 - ☞ 対応方針の見直し内容に応じ、調整会議の場での説明を依頼。

<イメージ>

【圏域における議論】

- 関係者間において、圏域における状況を共有し、課題等を議論
- 県から議論に資するデータを提示し、議論の活性化



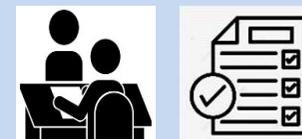
圏域における状況を共有

医療ニーズの変化に応じ、
各医療機関の方針を考え
ていく(サイクルを回す)

各医療機関の方針を共有

【各医療機関の方針】

- 圏域における状況を踏まえ、必要に応じて対応方針の見直しを行う
- 機能の見直しや強化に関しては、県からの補助金等で支援



令和6年度 病院機能再編・連携強化支援事業（県のデータ分析体制の強化、医療提供状況等分析）の概要

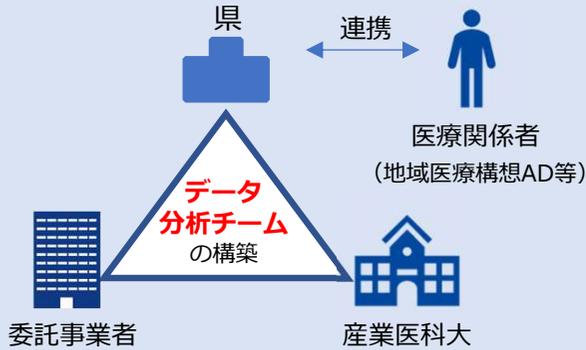
1. 目的

医療提供体制の「グランドデザイン」に基づき、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進するとともに、地域の医療関係者等が県内の医療を取り巻く現状を適切に把握することができるよう、県のデータ分析体制の強化を図り、県内の医療提供状況等の分析を行う。

2. 事業内容

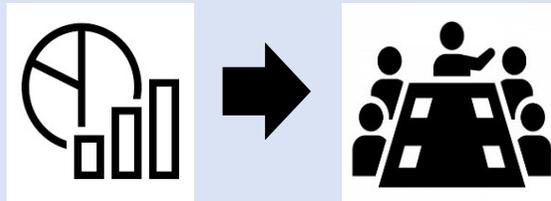
1 データ分析体制の構築

- 県、委託事業者（株式会社日本経営）、産業医科大学の三者によるデータ分析チームを新たに構築し、地域医療構想アドバイザー等の医療関係者と連携することで、効果的かつ持続的にデータ分析が行える体制を整備。



2 県内の医療提供状況等の分析

- データ分析チームにより、レセプトデータ等を活用して、県内の10医療圏ごとに、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析（＝地区診断）を実施。
- 分析結果を圏域別調整会議に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。



10医療圏毎に行った地区診断の結果を調整会議に提供し、議論を活性化

3 研修会の開催

- 地域の医療ニーズを踏まえた機能再編や連携強化への取組の増加に資するよう、県内病院等を対象にした研修会（オンライン形式）を開催。



【研修会で紹介する内容】

- ・ 県内の医療提供体制の状況
- ・ 国及び県の医療政策の動向
- ・ 医療機関が活用できる支援策
- ・ 他の都道府県で行われた機能再編等の優良事例 等

3. スケジュール（案）

	R 6. 7月～9月	R 6. 10月～12月	R 7. 1月～3月
1	データ分析チームの構築		
2		県内の医療提供状況等の分析	圏域調整会議に分析結果を提供
3			研修会（12月）

医療提供体制の「グランドデザイン」の概要

- 医療ニーズが変化し、医療サービスの担い手の減少が加速化していく2040年を含む中長期を見据え、限られた医療資源を最大限有効に活用する観点から、入院・在宅・外来医療体制について、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進。

【入院医療体制】

「地域型病院」と「広域型病院」による役割分担と連携を推進。

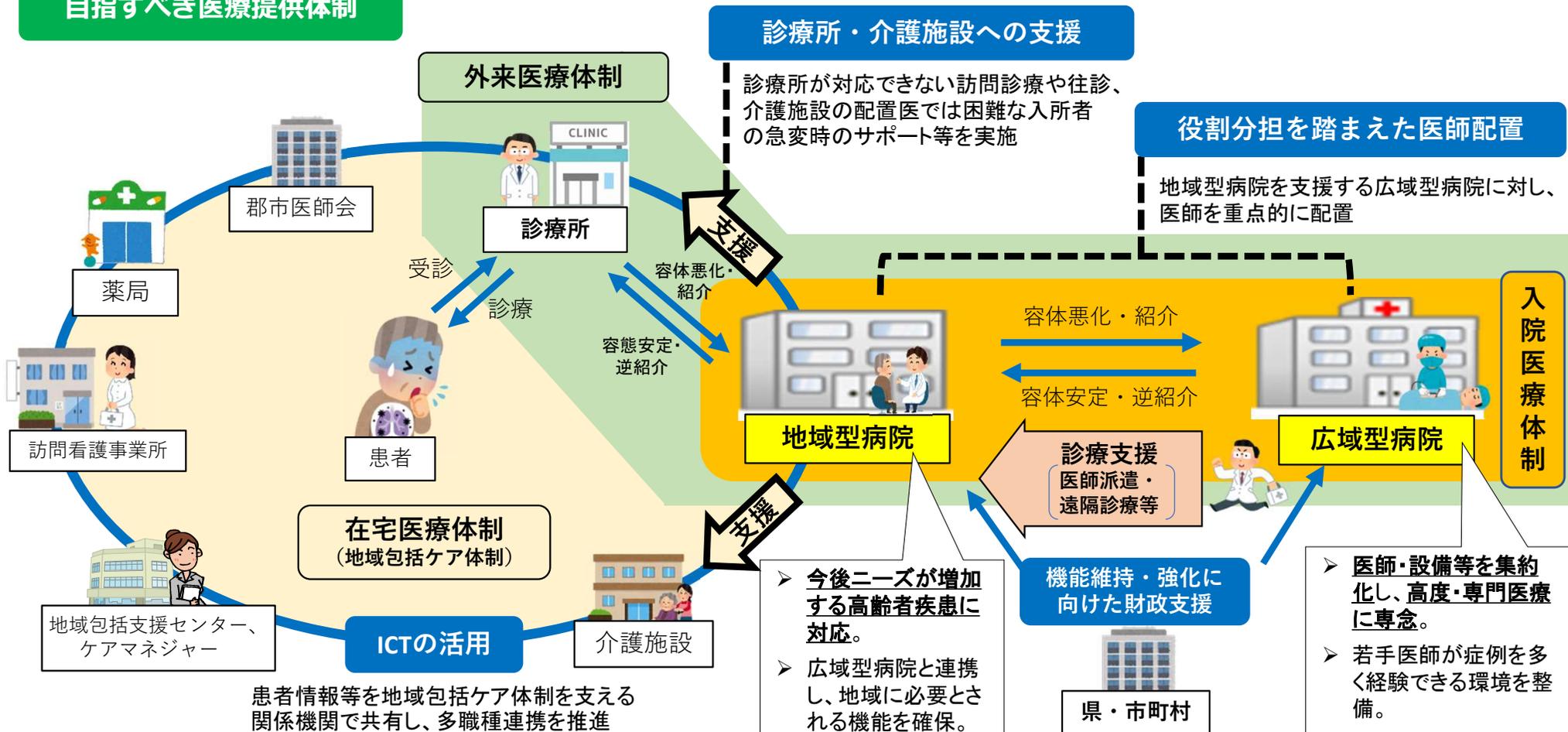
【在宅医療体制】

「地域型病院」を中心にした連携体制を強化するとともに、ICTを活用した患者情報等を共有する取組を積極的に推進。

【外来医療体制】

「かかりつけ医機能を担う医療機関（診療所、地域型病院）」を明確化するとともに、それらと「紹介患者を中心に診る医療機関（広域型病院）」による役割分担と連携を推進。

目指すべき医療提供体制



本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(案)

	令和6年度			令和7年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回		第2回	〔必要に応じて開催〕	第1回	〔必要に応じて開催〕	第2回
	1. 次期地域医療構想を見据えた議論【令和8年度からの策定開始を見据えた議論】 2. 圏域ごとの2025年以降も見据えた医療提供体制の課題や状況について議論【継続的に議論】						
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位での関係会議等			2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会設置を検討	2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会を開催			

■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

【令和6年度第1回】

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の議論(検証)について
- 区域対応方針の策定について(推進区域の場合)等

【令和6年度第2回】

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の(議論)検証について
⇒地域に見える化として、データ分析事業による地区診断結果を提示
- 区域対応方針の策定について(推進区域の場合)等

【令和7年度第1回】

- 2040年を見据えた次期地域医療構想について(国の検討状況を見据えつつ内容を設定)
⇒R7年度末に、策定ガイドラインが示される見込み。
- 圏域ごとの医療提供体制における課題や状況について等

【参考（R 6時点）】

各医療機関の今後の方針（対応方針）について

※圏域における議論等を踏まえ、必要に応じ、随時見直しを行っていく。

対応方針 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 1/2 — (諏訪医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回リハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
諏訪赤十字病院	病院	◎	○				○		高度・専門医療を中心とした急性期医療を継続するとともに、周産期医療、精神疾患など特定の診療に対しても役割を果たしていく。
組合立諏訪中央病院	病院	◎	○	○	○	○	○	○	前新改革プランでも挙げているように当院が果たすべき役割は①八ヶ岳西麓の救急医療を担うこと、②高齢者に多い整形外科領域や複数疾患をもつ患者への適切な医療の提供、③在宅復帰に向けたリハビリテーション医療の充実、④在宅では診ることのできない慢性患者の受け入れを質の向上を図りながら進める、⑤安心して子供を出産し、育てられるよう小児・分娩体制の充実を図ること、と考えている。当医療圏は山梨県境に及び広大であるので、当院は諏訪赤十字病院と協力しつつ、救急・急性期医療については重症の患者への対応や手術、ある程度の高度・専門医医療を担う使命があると考えている。
岡谷市民病院	病院	◎	○	○	○	○	○	○	今後の対応は現行の方針と変更ありません。
富士見高原病院	病院		◎	◎		○		○	・ありふれた疾患は子供から高齢者(看取りを含む)まで、地域完結型の医療を提供 ・高度急性期後の在宅復帰を目的としたポストアキュート症例や、在宅・施設からのサブアキュート症例の積極的な受け入れ ・在宅や施設療養との連携を推進するための地域包括ケアセンター機能の充実 ・近隣で開業する医院・クリニックとの綿密な連携および紹介・逆紹介の推進 ・神経難病・身体障害者の積極的な受け入れ
諏訪湖畔病院	病院		◎	○	○		○	○	①施設入所者・在宅で訪問看護を受けている患者の急変時や、救急患者の初期対応、比較的症状の急性期医療を担う病棟。 ②急性期後(ポストアキュート)の受入機能を担い、在宅に戻す役割の病棟。 ③術後・急性期後のリハビリを行い在宅・施設に戻す機能の病棟。
信濃医療福祉センター	病院					◎	○		これまでと同様に、地域の障害児の受け入れ施設、入院医療を担う医療機関として、地域医療を支えていく方針です。

対応方針 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 2/2 — (諏訪医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回りハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
諏訪共立病院	病院		○	◎	○	○		○	(1)社会医療法人としての任務と役割 「24時間365日」「断らない」方針を掲げ、地域住民が安心して暮らせるよう、高齢者を中心とした総合医療を担う。 (2)人工透析と療養病床 人工透析は25床に増床。対応療養病床は15床+入院透析患者の病床の確保含め30床を設置。 (3)在宅療養を支える入院機能と医療介護連携強化 ポストアキュート、サブアキュートさらに在宅復帰支援の役割を持つ地域包括ケア病床の増床。ワンストップサービス、法人外事業所との連携のしやすさ。 ⇒ ワンフロアー化、面談室、カンファレンスの充実
祐愛病院	病院					◎		○	現状維持でと考えている。
諏訪城東病院	病院		○	○		◎	○	○	感染症流行期でも面会制限を必要としない病院を目指して、感染対策設備を拡充させるとともに、諏訪医療圏から他医療圏や他県に流出している長期療養が必要な慢性期患者の受け入れ先としての使命を果たしていきたい。
諏訪マタニティークリニック	病院						◎		地域の医療ニーズや現状の医療機関との連携状況から、特に医療機能を変更する必要がない
あおぞらレディス&マタニティークリニック	診療所						◎		引き続き、諏訪地域の正常分娩を取り扱う医療機関として役割を担っていく。
山崎医院	診療所					◎		○	現状を継続していく予定
野村ウィメンズクリニック	診療所						◎		あと数年で分娩中止

対応方針 — 機能別病床数の意向 — (諏訪医療圏)

- 2025年の意向を集計した結果、2022年7月1日時点と比較すると、急性期から回復期への転換が図られ、総病床数は変わらない見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向と比較し、急性期・回復期病床の削減等により、総病床数は18床減床する見込み。



対応方針 — 機能別病床数の意向 — (諏訪医療圏:医療機関別)

- 2025年までに、富士見高原病院において急性期から回復期への転換が行われる見込み。
- 2025年から2030年までの間には、諏訪共立病院において急性期・回復期病床の削減、野村ウィメンズクリニックにおいて分娩停止に伴う病床削減等が行われる見込み。

【凡例】 A:2023年7月1日時点の機能別病床数 B:2025年における機能別病床数の意向 C:2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期			B-A		C-B		急性期			B-A		C-B		回復期			B-A		C-B		慢性期			B-A		C-B		休棟			B-A		C-B		介護施設等への転換			B-A		C-B		病床数計			B-A		C-B	
	A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C						
諏訪赤十字病院	271	271	271	0	0	154	154	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	425	425	425	0	0				
組合立諏訪中央病院	34	34	34	0	0	206	206	206	0	0	84	84	84	0	0	36	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	360	360	360	0	0				
岡谷市民病院	8	8	8	0	0	152	152	152	0	0	89	89	89	0	0	42	42	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	291	291	291	0	0				
富士見高原病院	0	0	0	0	0	161	107	107	-54	0	0	54	54	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	161	161	0	0				
諏訪湖畔病院	0	0	0	0	0	58	58	58	0	0	82	82	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	140	140	0	0				
信濃医療福祉センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127	127	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127	127	127	0	0				
諏訪共立病院	0	0	0	0	0	56	56	49	0	-7	54	54	50	0	-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	110	99	0	-11				
祐愛病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	49	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	49	49	0	0				
諏訪城東病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	48	48	0	0				
諏訪マタニティークリニック	0	0	0	0	0	33	33	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33	33	0	0				
病院計	313	313	313	0	0	820	766	759	-54	-7	309	363	359	54	-4	302	302	302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1744	1744	1733	0	-11				

有床診療所名	高度急性期			B-A		C-B		急性期			B-A		C-B		回復期			B-A		C-B		慢性期			B-A		C-B		休棟			B-A		C-B		介護施設等への転換			B-A		C-B		病床数計			B-A		C-B	
	A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C						
あおぞらレディス&マタニティークリニック	0	0	0	0	0	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16	16	0	0				
山崎医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0				
野村ウィメンズクリニック	0	0	0	0	0	9	9	0	0	-9	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	2	0	-7				
有床診療所計	0	0	0	0	0	25	25	16	0	-9	0	0	0	0	0	15	15	17	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	40	33	0	-7				
総計	313	313	313	0	0	845	791	775	-54	-16	309	363	359	54	-4	317	317	319	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1784	1784	1766	0	-18				